

令和7年度 八木山地区社会福祉協議会 活動報告

目次

令和6年度地区社協活動状況総括 P1

活動 つながってささえあう「事業の充実」

- 事業1 ささえあいサロン活動
- 事業2 ささえあい活動
- 事業3 ささえあい移送
- 事業4 ふれあい子育て
- 事業5 ささえあい畑・フードバンク
- 事業6 フレイルチェック



運営Ⅰ 学びあい・語り合いの推進

運営Ⅱ 連携と協働の推進

- 協働1 松が丘&つつじが丘連合自治会
- 協働2 まちづくり協議会
- 協働3 松が丘パソコンクラブ
- 協働4・5その他・地域内外の団体や企業



運営Ⅲ 活動資源の開発・整備

活動Ⅳ 広報の強化



買い物バス



子どもも囲碁将棋



R7（2025）年度八木山地区社協活動状況総括

異常な高温の長い夏、その上世界各地で理不尽な紛争、悲惨な人々の状況。国内では自然災害が人々を苦しめた。福祉とは程遠い人々の数が多くなった。

地域では、高齢ゆえに苦しむ方々が、介護にご苦労なさっている方が増加している。今こそささえあうときと思える。

このような時勢に、八木山地区社協では、昨年に引き続いてそれぞれの部署で、懸命に活動を展開した。

毎週の献立・調理を何年も担ってくれる人がいる「作って食べよう」利用者に大変喜ばれている。せっかく集まった人々で、おしゃべりを楽しむ付加価値もつけた。

ささえあい活動：難しい困りごとに、粘り強く取り組む人、また複数のメンバーで相談して取り組んで解決していく等、誠意をもって活動ができた。「90歳を超えたけれど、ささえあいの家があるから何とかなるかって思う」と複数の人から言われた。

移送は、買い物バスの利用が生活の一部になっている人々。荷物を自宅まで運んでもらえると知って、必要な品を存分に購入するようにした等、有効活用されている。個別移送は階段の多いお宅の方を、安全に車まで誘導するためにスタッフを複数対応にした。

子育てでは、小学校の春夏秋の長期の休みに、子ども企画を立ててお菓子作りなどを、八木山フェスタでは面白理科実験を楽しんだ。今年も協力者のおかげで入学・卒業祝い品を贈ることができた

ささえあい畑では珍しい作物を栽培し、配食や「作って食べよう」に提供した。栽培には水が欠かせない。日照りの夏に水の確保に力と知恵を絞り、やれやれと思う間もなく、イノシシや小動物に作物をあらされた。危機のたびにメンバーは力を合わせ乗り切ってきた。新しく落ち葉・残菜から作った肥料を使った農法も初めた。

フレイル予防のはつらつ八木山マルシェでは、外部講師が常に4人以上、質の高い活動ができた。支援学校の体育館の利用で、松が丘の人々が参加しやすくなった。

盆踊りでは、アルミ缶風車等で。新春のつどいでは餅つきボランティアに数多くのメンバーが参加して賑わいづくりをすることができた。八木山フェスタでは、絵画展も担当。

学校統廃合が議論されていることで、数回の意見交換会をもった。この会はまち協につないだ。

韓国からの視察、またささえあい活動の中日新聞への2回にわたる掲載。ジャパンタイムズ掲載など大きな出来事があった。この情報で県内外から視察があった。

また今年も、今まで以上に自治会との連携を図った。自治会メンバーには情報を毎月届け、すべての自治会の組長・班長会に参加し、社協の活動を聞いていただいた。事務量が増す対策として、複数の者が分担して受け持つ体制づくり、そしてパソコン・スマホの活用を皆で学習しながら進めてきた。今年度はGoogle サイト&AIの勉強会をパソコン・スマホ相談のメンバーと共に月2回のペースで実施。参加者は使いこなせるようになりたいと意欲を持っている。

「まち全体が、デイサービスセンター化（行く所・話す所・運動する所）」への試みを初めた。

事業1 ささえあいサロン活動

サロン部会 2025年度参加者集計

	講座	年合計
1	PC/スマホ相談	292
2	囲碁・将棋	534
3	ガーゼハンカチ作り	24
4	絵手紙	81
5	おたのしみ会	117
6	作って食べよう	1282
7	包丁研ぎ	27
8	インターネット活用講座	42
9	すみれの会	44
10	オカリナ	43
11	大江さん手芸	41
12	川柳	30
13	認知症茶話会	56
14	ささえあいスクール	15
15	立ち寄り・会話	77
16	障がい相談	30
17	子どもクレープ作り	31
18	子どもカレー	86
19	ローゼル講習会	10
20	お茶会	15
21	正月飾り作り	9
22	スタンドグラス作り	7
23	グーグルサイト AI 勉強会	28
24	地域の未来を考える会	32
25	かるた会	6
2	今年の目標を語る会	4
27	おしゃべり会	38
28	子ども手芸（ミサンガ）	18
29	子どもフレンチクルーラー	40
30	子どもガレット	26
31	子どもチュロス・	22
32	こどもそうめん	16
	当番	532
	合計	3655

「私の希望表明書」は自身や親族との話し合いの大切さを学んだ。「折り紙で恐竜・コマを作ろう」は、作品が人を喜ばせることができるという意味のある活動だった。

今年のように毎日暑い日が続く夏は、参加者が少ないのは仕方がないかもしれない。夏休みの「子ども企画」の「チュロス」「ガレット」「果物で飾ってそうめんを食べよう」は全ての内容にかき氷もあって、子どもたちは大いに楽しんだ。

「囲碁・将棋」は、週2回の定例日以外にも、ふらっとサロンに来て楽しんでいかれる方々、予約なしで利用できる場所を提供できている。子どもも参加し、おじさんたちに教えていただけている。

「パソコン・スマホ相談」「Gサイト&AI勉強会」時代に合った会で、参加者は意欲的に学習しておられる。

パソコン・スマホ相談はささえあいの家が始めて以来の長寿講座で、1対1で丁寧に教えていただける。

「作って食べよう」も毎週30名ほど参加があり、衛生面の講習を受け、食事作りをしている。在宅の高齢者の、人との接触の機会作りをしている。引き続き実施するおしゃべり会」も目的は同じ。皆さんいっぱいおしゃべりして過ごされる。

「お楽しみ会」も毎回体操、早口ことばや朗読をして口の運動やゲームを楽しみ、人々のつながりが強くなるよう努力している。

新たに始まった「長縄先生の体操」は椅子に座って誰でも参加できる体操で、継続して参加することで、いつまでも動ける身体作りができると思う。

サロンでは様々な活動をしているが、予約なしで参加できることがささえあいサロンの良さだ。また囲碁の時間には来られない人を、別の日に囲碁ができるようにするなど一人の要望を叶えることにも力を入れている。

事業2 ささえあい活動



「脳梗塞で体が不自由になった。ベッドを置くために、家具の移動をしたい」



「2階で寝ていたが、階段で2度も転んだ。2階はもう嫌だ。1階で寝ることにする。タンスを下ろしてほしい」



水撒き用のホースリールを買い替えたい。それならいっしょに行き選んでみましょう。取り付けはしますよ



猫と暮らしていた。突然入院となった。「家事支援に入っている私たち2人で、猫ちゃんのお世話をします。安心して病気を治してください」



草が生えないようにシートを敷いた。そして毎日シートの庭を眺めて暮らすのは、わびしいと思うようになった。シートの上に砂利を敷いて、一部人工芝にした。残りの人生をこの庭とともに暮らせる。



浴槽に手すりをつけました



右の写真のような現象がありました。「排水がつまりっています」と知らせた。「解消して」との要望に応じました。木の根っこが排水管いっぱい成長していました。



事業3 ささえあい移送

八木山バス

令和3年11月の運行開始以降、

- ・買い物ツアー（平和堂行き）→ヤマワ及びイオンは個別移送で対応
- ・ノルディックウオークエクササイズ（自然遺産の森、一宮さくらの里公園などに活用
- ・はつらつ八木山マルシェ、長縄先生の体操教室等の参加者送迎
- ・イベント・企画ツアー（福祉講演会、県福祉大会、大学での講演等）

買い物バスでは、公共バス停までは遠い、また急な坂道の方々の利用が多い。介助員は、重い米などを玄関先まで届けて差し上げるので、大変喜んでいただいている。

利用者はつつしが丘は多いが松が丘の利用者が少ない状況。

一人暮らしの方で介護が必要な方が初めて利用されて大変喜んでおられる。

		R5年度	R6年度	R7年度 4～2月	累計
買い物ツアー送迎	運行回数	60	51	48	159
	利用者数（延べ） 人	344	420	413	1177
ノルディックウオーク 送迎	運行回数	18	22	16	56
	利用者数（延べ） 人	89	100	54	243
イベント・企画ツアー 送迎	運行回数	8	6	17	31
	利用者数（延べ） 人	52	28	91	171
関係団体活動送迎	運行回数	5	4	2	11
	利用者数（延べ） 人	40	24	18	82
計	運行回数	91	83	83	257
	利用者数（延べ）	525	572	576	1673

個別

移送

- ・個別の申し込みに応じて移送
ほとんどが医療機関への移送 単に送迎のみならず病院内でのサポートも実施している。
今年度は毎月10～20名が利用している。
- ・個別移送が住民の方々に周知されたこと、今夏は酷暑が続いた等の理由で利用者が増えつつある。一方、利用者はリピーターが多く、新規利用者は頭落ちなので、個別移送についても広く広報する必要がある。
- ・ささえあい移送についてより多くの人に知ってもらうために、6～8月に全自治会の組長会・班長会に参加し、利用促進を図った。

・長く利用している方の体が具合が悪くなり、階段を降りる・昇るのがとても難しくなった。車に乗るまで、降りて自宅へ上がるまで、補助員をつけることにした。

時刻表の発行

・ふれあいバス、岐阜バス、八木山バス、JR 及び名鉄の近隣駅の時刻表を記した小冊子を作成していたが、時刻表の改定に伴い改訂版を作成し、利用者に提供した。

26年4月の時刻改定に伴って、時刻表を更新することにした。

車いすの貸出・社協では貸出用の車いすを保有しており、今年度は「選挙投票に利用する」「お出かけ」などの理由で3件の利用があった。

・障がいのため、外出がままならない方を、車いすを搭載した福祉車両を用いて、まち協の(八木山フェスタ)と、社協の落語会に参加していただいた。大変感激された。

・「車いすを搭載可能な福祉車両を貸し出すこともできる」と広報したら、すぐに利用申し込みがあった。有効に活用いただきよかった。



車いす搭載の福祉車で、重傷者を移送



介助者の活躍で安心して乗車

事業4 ふれあい子育て

焼きそばパーティ



いろいろトッピングそうめん



糸電話



面白理科実験



子ども囲碁将棋



卒業・入学祝いの給食袋



春・夏・秋休みの子ども企画
焼きそばパーティー・子ども
囲碁将棋他
八木山フェスタ：面白理科実験
ガーゼハンカチに入れる恐竜の
折り紙制作：先生は中学生

事業6 フレイル予防活動

フレイル予防は、老若男女を問わず、運動・栄養・社会参加の3つのポイントを継続しながら、快適な生活を送るための一手段。八木山地区社協では、フレイル予防活動の一助として、「はつらつ八木山マルシェ」の開催及び「ノルディックウォーキング」の普及活動に加え、1月から月2回の「健康体操教室」も始めた。

1) はつらつ八木山マルシェの開催(毎月第1土曜日13:30~15:00)

開催は毎月第1土曜日13:30~、会場を5月はつつじが丘ふれあいセンター、6月~9月は新しくできた冷暖房完備のかかみがはら支援学校体育館で、10月~3月は鶴沼地区体育館で実施した。マルシェでは、八木山地区内外の方々のお力をお借りして、①理学療法士によるフレイル予防講座&個人にあったアドバイス、②足指筋肉トレーニング&足指・頭(脳トレ)を使ったボールゲーム、③心も指先もきらきらネイルケア、④正しい姿勢をケアするカイロプラティック、⑤有酸素運動で健康力アップ!ノルディックウォーキングワークショップ、⑥ベジチェック・血管年齢測定(明治安田)、⑦血圧測定(まちの保健室)、⑧パタカラ体操、⑨軽スポーツ(ガラッキー・ボッチャ)など毎回盛り沢山の内容で楽しんで頂きました。参加頂くことで、運動・栄養・社会参加のきっかけ作りになったのではないかと。

2025年度 はつらつ八木山マルシェ参加状況

参加者	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者	17	27	29	28	37	15	16	24	10	21	19
活動者(スタッフ)	9	8	9	7	8	7	7	6	6	7	7
総数	26	35	38	35	45	22	23	30	16	28	26
累積総数	26	61	99	134	179	201	224	254	270	298	324

昨年度は暑さ対応に苦慮しました。今年度は冷暖房完備のかかみがはら支援学校体育館で開催でき、会場までの移動に八木山バスによる送迎、お茶(麦茶)・おやつ(冷菓)の提供なども行いながら、皆さんに気軽にご参加いただけました。

2) ノルディックウォーキング普及活動

①ノルディックウォーキング講習会

はつらつ八木山マルシェ等でワークショップを開催するとともに、9月の八木山フェスタや以降開催される健康ウォーク、新春のつどい等でもワークショップを設け、講習会参加の機会を作った。

②ノルディックウォーキングクラブ(毎週月曜・木曜 90分)

講習会を受講した後、継続して行うのもなかなか難しいもの、この気持ちを逸することなくクラブ活動として、「ひとりじゃなかなか続かない」、「皆で歩けば楽しいね」とご賛同頂いた皆さんの参加による活動。毎回お天気と睨めっこしながらの屋外活動だが、季節の変化を楽しみながら、①日乃出不動、②緑苑半ノ木洞公園~緑苑西公園、③翠池~松が丘6・7丁目、または支援学校までの往復、④白山神社~ほたる

の里～里山、⑤八木山際道、⑥鶉沼宿～大安寺川など自然豊かな八木山地区界隈をノルディックウォーキングしている。前年度より恒例となった月1回の「お出かけノルディックウォーキング」では、①一宮市さくらの里（極楽寺公園）～138タワーパーク、②各務原市浄水公園、③川島環境楽園オアシスパーク、④江南市フラワーパーク、⑤扶桑町木曾川沿い遊歩道など、八木山バスを利用して、いつもと違う景色を楽しんだ。屋外活動の難点は、天気と気温。夏場（5～9月）は木陰を求め、自然遺産の森へ八木山バスを利用して出向いた。7・8月は夏休みとし、この間は個人練習。「継続は力なり」、皆さんの体力維持が期待される。

2025年度ノルディックウォーキングクラブ参加状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施数	7	7	6	0	0	2	8	6	7	4	7	8
参加者	34	30	24	0	0	2	25	20	19	11	19	29
総数	34	64	88	88	88	90	115	135	154	165	184	213

3) 健康体操教室の開催

歩くのはちょっと苦手・・・という方に、あの「筋トレ・脳トレ・笑トレ!」でおなじみの長縄先生による健康体操教室を1月から月2回（第2・第4月曜日・10:00～）開催することになりました。会場は、2カ月ごとにつつじが丘ふれあいセンターと松が丘コミュニティセンターで行い、会場への移動は八木山バスによる送迎も行っている。

2025年度健康体操教室参加状況

	1月	2月	3月
実施数	1	2	2
参加者	13	30	25
総数	13	43	68

4) フレイル予防普及活動

はつらつ八木山マルシェ等のご案内は、ささえあい福祉便りに毎月掲載し、また、開催の前にはご案内のビラを一部ですが戸配した。ノルディックウォーキングの講習会は随時受け付けている。普及することの難しさを感じているが、今後も継続して参ります。ノルディックウォーキングは、お子様も参加可能です。ポールを使って歩くことで、姿勢もよくなり、歩幅も広がり、ハードな運動よりもソフトな有酸素運動になる。毎朝のウォーキングにポールを使ったノルディックウォーキングを加えて、坂のまち八木山で益々お元気にお過ごし頂ければと願っている。

5) 次年度計画

①「はつらつ八木山マルシェ」の継続開催

今年度も認知度を高めるため、実施時期を毎月第1土曜日 13:30～15:30に固定。会場は、かかみがはら支援学校体育館（5月～翌年3月）を市社協に確保していただいた。会場は、冷暖房完備なので猛暑の中でも快適な時間を過ごすことができる。

会場へは八木山バスをシャトル運行。老若男女を問わず、地域の皆さんが此処八木山で健康に関する情報（体操・健康レシピ）やためになるミニ講座を聞いて学んでいただく、時節に合わせたイベントを企画し、短時間だが、楽しんで頂くことを目的としている。

健康面だけではない。DIY のマテメソ講座、もしかしたら得意技のお披露目コーナーなどもあるかも。この八木山で楽しく暮らせるまちづくりのお助けになることを期待し、活動していきます。どうぞご活用下さい。

②市によるフレイル予防

これまでに受検して頂いた方を中心に 10 月のはつらつ八木山マルシェで市によるフレイルチェックを行います。ぜひ、ご参加ください。

③ノルディックウォーキングの継続

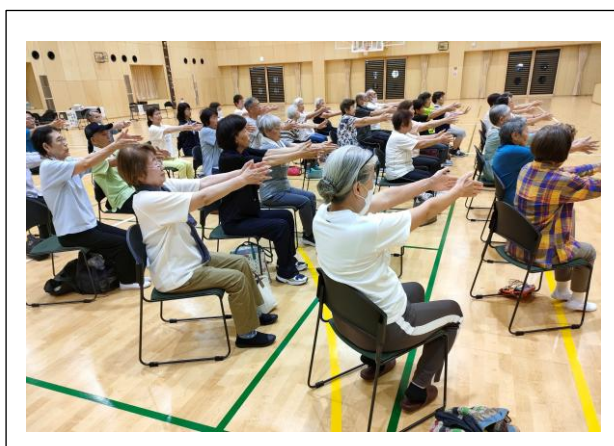
a. ノルディックウォーキングクラブ活動

- ・毎週月曜・木曜の午前中（八木山地区界限 90 分）の実施
- ・月 1 回の「お出かけノルディック」の企画
- ・「なんちゃって企画」の実施

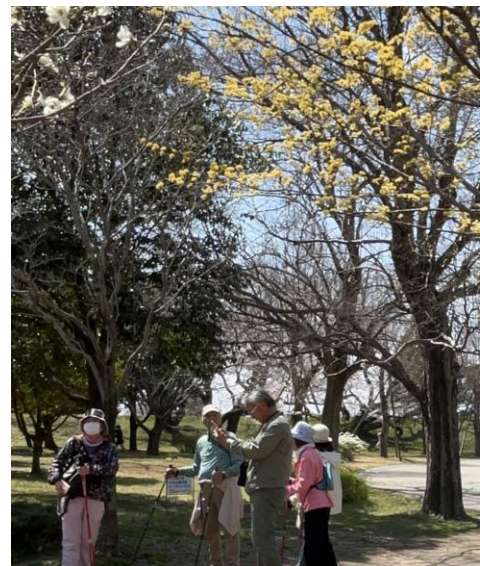
b. ノルディックウォーキング講座

- ・年 1～2 回講座の開催

以上、地域の皆さんがいつまでも健康で、笑顔あふれる楽しいまちづくりのお手伝いのできればと考えている。主役はあなた自身。



転倒予防体操



お出かけノルディック

[活動Ⅱ] 学びあい語り合いの推進

(1) 先進事例などの視察・研修

	日	テーマ	視察先・主催者	参加人数
1	4月28日	自治会連合会会長・地区社協会長合同会議	市社協	2
2	5月23日	地区社協会長・福祉推進員研修会	総合福祉会館	2
3	10月4日	各務原市福祉フェスティバル	市民公園一帯	1
4	10月11日	日本福祉大学同窓会講演会	市中央図書館	5
5	10月14日 ～23日	いきがい・助け合い・オンラインフェスタ 2025	さわやか福祉財団	4
6	10月29日	岐阜県社会福祉大会	不二羽島文化センタ	1
7	10月20日	フレイル予防推進会議	ZOOM	4
8	2月3日	フレイルチェックサポーター研修会	那加福祉センター	3
9	3月1日	各務原市ふるさと福祉村意見交換会	総合福祉会館	4
10	3月15日	グループホーム彩り	羽場・松が丘	6

(2) 福祉座談会・講演会

	日	テーマ	講師	
	5/18	「人権とは 自己選択 自己決定の 大切さ」	児玉克己氏	37
	7/12	「施設入所はいくらかかりますか」	秋田房子氏	38
	1/16	理事評議員他拡大懇談会「地域全体を デイサービス化への試み」		38

(3) 大学などでの講義・講演

1	4/30	加茂野地区社協 視察	6名	
2	5/6	名城大学法学部 講義	280名	
3	5/8	名古屋外語大 講義	30名	
4	6/15	加茂野地区社協講演	40名	
5	6/16	郡上市和良地区社協 視察	9名	
6	7/28	さわやか財団全国交流フォーラム パネルディスカッション登壇	300名	
7	10/28	名城大学人間学部 講義	230名	
8	11/21	韓国ソウル恩平区視察団	12名	
9	11/24	三河地区懇談会 視察	9名	
10	12/20	豊田市五ヶ丘自治会	1名	
11	1/6	中部学院大看護学部 講義 3名	80名	
12	1/22	COOP 理事研修 講師	23名	
13	2/2	瑞浪市社協 瑞浪支部社協視察	6名	
14	2/12	COOP「共同の未来塾」 講師	8名	
15	2/25	美濃加茂市加茂野支部社協 視察	10名	
16	2/27	東近江市 市福みらい会議 視察	14名	
	1/5・19	中日新聞掲載		
	2/20	ジャパントイムズ掲載		

【活動Ⅱ】 連携と協働の推進

協働1 松が丘&つつじが丘連合自治会

地域住民に対する活動は、両自治会（まち協）と社協が車の両輪ととらえている

(1) 自治会役員・地区社協役員への就任

2年前から連合自治会長の地区社協会長への就任がなくなった。副会長には役職に就任いただいている。そして自治会役員会で理事会便りをもとに報告していただいている

(2) 地区社協発行物の回覧、各戸配布

毎月発行の”福祉便り”の配布など協力いただいている

(3) 社協の活動をわかっていただくために、組長・班長会に時間をいただき説明

(4) 施設利用 コミセン・ふれセン・集会所

理事会はリモート併用のため、Wi-Fi環境のつつじが丘集会所を利用させていただいている。

(5) 業務委託・請負

松が丘連合自治会・・・公園トイレ掃除 シンク周辺清掃

つつじが丘自治会・・・ふれあいセンター 流し・扉調整 椅子修理

(6) 盆踊り協賛事業 アルミ缶風車・輪投げ バルーンアート

協働2 まちづくり協議会

八木山まちづくり協議会の催しの中で、支えあいの輪が広がる活動の実施

9月21日 八木山フェスタ 面白理科実験 陶器に絵付け・まちの芸術家の作品展・まちの保健室

1月11日 新春のつどい 餅つきボランティア20名 物品の移動等参加

協働3 松が丘パソコンクラブ

(1) 地区社協ホームページの運営管理

(2) スマホ・パソコン相談会

(3) Google サイト勉強会への協力

協働4 その他地域内外の団体との連携

近隣ケアグループ代表をはじめ、地域18団体の代表者の方に地区社協評議員に就任していただいて情報の共有を図り課題解決にむけて連携を図っている。またアドバイザーの市社協・江原先生からは各種会議で助言をいただいている。清水強さんからは年間を通して野菜・お米の提供をいただいていることに感謝。イオン黄色いレシートキャンペーンでは今年度29,400円、地域の人々のご協力に感謝。



新春のつどいの餅つき



新春の集い 裾の道を歩く

【運営Ⅲ】 活動資源の開発・整備

地区社協の活動に関する情報の整備・拠点整備・地域内外の人財発掘・資金開発などを推進している。

開発1 情報通信技術やソフトの活用と普及

- (1) 地区社協ホームページ 八木山社協サテライト
毎月、ホームページの内容を更新して地域の状況や活動の最新状況を動画も含めて掲載している。
①お知らせ ②地区社協のスケジュール ③八木山地区の自然・成り立ち・住民統計 ④地区社協の概要 ⑤地区社協の出張事例発表・視察受入れ ⑥活動部門の内容 ⑦月刊広報紙（まちの福祉便り・ささえあい活動通信） ⑧地域の福祉関連団体紹介
又、新年度からの運用開始を目指して地域のみんなが参加して編集する新しいタイプのホームページ「八木山社協サテライト」の企画と勉強会を実施した。
- (2) LINEによる情報共有・交流
その都度、LINEによる情報共有を活発に行い活動の効率化や活動者同士の交流を行っている。
①ノルディッククラブ 24名 ②八木山マルシェ13名 ③会計業務10名 ④インターネット活用講座20名
- (3) 情報通信機材の更新など
Wi-Fi環境の無い場所（松コミセン・つつじふれセン等）で、昨年度に購入したタブレットを使ってテザリングを行いパソコン等をインターネットに接続可能にした。

開発2 自主的な資金開発

- (1) 自主的な資金の内容
①募金 寄付金 協賛金 ②自治会等受託作業 ③視察有料受入れ・出張講習 ④アルミ材収集 ⑤お米・時刻表販売 ⑥ささえあい活動等の謝礼分配 ⑦利息 ⑧所有車貸付け ⑨イオンの黄色いレシート ⑩その他
- (2) 自主的な資金開発経過（※各年1-12月）

単位：千円

	2013	2015	2017	2019	2021	2023	2025
収入	2,125	3,711	4,595	8,321	3,548	3,449	4,919
市社協助成	2,105	3,687	3,732	2,563	1,846	1,844	2,220
他団体助成	0	0	0	4,500	0	260	710
自主的資金	20	24	863	1,258	1,449	1,345	1,989
自主比率	1%	1%	19%	15%	41%	39%	40%

開発3 自主的な資金の運用

- (1) 有償基準の設定
活動者が高齢化する中で10年後も活動を継続するためには新たな担い手の発掘と定着が欠かせないとして有償ボランティアの制度を順次開発してきたが、今年度の新たな設定はなかった。
- ① 2017・9 理事会 有償基準A：謝礼付有償ボランティア活動
② 2022・1 理事会 有償基準B：障がい等で未就労の人の活動
③ 2022・5 理事会 有償基準C：私有車使用の活動
④ 2023・3 理事会 有償基準D：巡回バスの運転者・介助者
⑤ 2023・5 理事会 有償基準E：新任の会計
⑥ 2024・4 理事会 有償基準F：剪定・草取り
⑦ 2024・4 理事会 有償基準G：よりそい活動
⑧ 2024・4 理事会 有償基準H：アルミ材収集スタッフ
⑨ 2025・1 理事会 有償基準F：剪定・草取り 見直し
⑩ 2025・1 理事会 有償基準G：よりそい活動 見直し

(2) 有償基準の資金経緯

単位：千円

	2021	2022	2023	2024	2025
①A謝礼付有償ボランティア活動	1,196	1,528	2,658	2,666	2,855
②B障がい等で未就労の人の活動	5	19	16	19	19
③C私有車使用の活動	0	192	166	185	177
④D巡回バスの運転者・介助者	0	85	154	152	154
⑤E新任の会計	0	0	300	450	480
⑥F剪定・草取り加算	0	0	0	372	501
⑦Gよりそい活動加算	0	0	0	189	539
⑧Hアルミ材収集スタッフ	0	0	0	50	65
合計	1,201	1,824	3,294	4,083	4,790

開発4 人財の発掘と定着

- (1) 担い手発掘A：企業や他団体との協賛
 - ①各民生委員が理事就任2名から7名に
- (2) 担い手発掘B：有償化メニューの開発

※今年度の有償基準の新規設定は無し
- (3) 担い手発掘C：事務作業の分割&クラウド運用
 - ①会計担当を2人から5人に増員（新人2名加入）
 - ②事務担当を4名から8名に増員（新人1名加入）
 - ③会計監査を2名から3名に増員（新人1名）
- (4) 担い手発掘D：1年交代の自治会との連携・協働
 - ①福祉推進員が事務局就任2名増員（新人2名加入）
- (5) 担い手発掘E：

27

張

〔運営V〕 広報の強化

～つながる・ささえあう～を地域全体に広めるために

	種別	内容
1	ホームページアップロード	活動状況・活動参加呼びかけ
2	ホームページサテライト	多数のスタッフによる記事掲載予定
3	月間まちの福祉だより ささえあい活動通信	地域の実情・活動状況・ささえあいサロンスケジュール 自治会の協力で全戸配布
4	掲示板の運用	まちの福祉だより、地域 16 か所に掲示
5	ささえあいの家の掲示板運用	折々の催し参加呼びかけ
6	チラシ作製配布	催しごとに作製し 配布
7	さわやか福祉財団の 「さあ言おう」への掲載	記事・出来事等の情報提供

八木山社協サテライト

ホーム 事務局 部会 ▾ 八木山地区概要 ▾



事務局



ささえあい活動通信



まちの福祉通信



ささえあいの家



囲碁・将棋



フレイルチェック



ノルディック
ウォーキング



ささえあい畑・フード
バンク部会



作って
食べよう



バス・ちよいそこ
Taxi



パソコン・スマホ相談



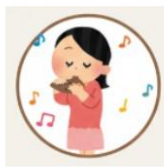
掲示板



認知症茶話会



大江さんの手芸



オカリナ講習



動画コーナー



川柳カフェ



すみれの会の集い

①

情報をお寄せ
いただきました

八木山地区社協に 韓国から視察団が訪

「さあ言おう」に
掲載された記事

本誌2024年7月号でも活動を紹介した助け合い活動団体「八木山地区社会福祉協議会」（岐阜県各務原市。以下、「地区社協」）から、視察受け入れの情報をお寄せいただきました。

昨年11月21日、地区社協の拠点であり地域住民の居場所である「ささえあいの家」に、韓国から「恩平 統合ケアネットワーク視察団」の12名が訪問しました。視察団のメンバーは、社会福祉法人、医療生協、NPO団体、市民自治組織、行政などで、多様な主体が協働しながら地域住民のニーズに応える地域包括ケアの実践例を学ぶことを目的に来日しました。

この視察は、東海地方の生協が中心となり調査・研究等を行っている「NPO法人地域と協同の研究センター」（名古屋市）を通じて、視察団に地区社協が紹介され実現したものです。

一行は、ささえあいの家を見学し、活動の説明を受けました。

視察団からは「素晴らしい活動。自分もここで暮らしたい」「さまざまな才能を持った人がいるんですね」「同じような活動を、仕事と子育ての合間にやっている」といった感想が出るとともに「50代の方は活動していますか」という質問があり、地区社協は「活動者の多くは70～80歳だが、50代の人もいます」と回答しました。